

# 21世紀への展望を開く ファッショントウン

鬼塚喜八郎△株式会社アシックス社長▽

木村 豊△株式会社キムラタン社長▽

河野 忠博△カワノ株式会社社長▽

神戸がファッショントウン都市づくりをめざして、丸十年が経過しました。また今年（昭和五十八年）中には、かねて建設が進められていたポートアイランドのファッショントウンの一部が稼動を始めます。今回は、ファッショントウンに進出される三社にお集まりいただき、この十年の歩みと、ファッショントウン建設への取り組みなどについて、お話をうれしいです。

重工業から知識集約型産業への転換に成功した十年

鬼塚 昭和四十八年一月に恒例の政界財界共同の新年合同祝賀会で、故・砂野神戸商工会議所会頭が、神戸をファッショントウン都市にして行こうと提唱されました。ここから神戸は本格的なファッショントウン都市づくりに向って行くのですが、ちょうどこの時期、四十八年十月に例のオイルショックがあり、高度成長が終わりを告げ、減速経済になつて來た。大きな曲り角で、知識集約型産業であるファッショントウン都市づくりを提案されたのは、実に素晴らしいタイミングだったと考えます。

その後、ポートピア'81も大成功に終り、その跡地に、ファッショントウンのモデル地区をつくつて行こうという構想

が、現在、着々と実りつつあります。

そういうことを考えますと、実に神戸はタイミングよく二十一世紀に向つて新しい町づくり、いわゆる情報都市であり、同時にファッショントウン都市であるという知識集約型の構造に転換して行きつつあり、これは実に素晴らしいと思います。

現在、神戸・京都・大阪の各商工会議所が中心となつて、ファッショントウン産業振興懇談会が結成されて、ファッショントーンについては関西は一つだということで推進されていますが、京都・大阪はどちらかと言いますとアパレルですが、どうしても中心になつていて、神戸はそうじやない。新しいライフスタイルに関連したトータルな産業をファッショントーン産業だと言っています。さらにその上に、コンベンションシティとしての要素を加味して行っています。河野 ファッショントーン市民大学が開講されたのは昭和四八年で、私もまたまさの運営委員の一人に選ばれたのですが、当時は、まだまだファッショントーン産業とはどういうものかはつきりとしていたなかつたですね。それで私はいろいろな講師の方のお話を聞いて、勉強させていただきました。

神戸市は從来、鉄鋼・造船という重化学工業におんぶをしていました。しかしながら、これから先は、いつまでもそれではうまく行かない。当然、産業の構造も變つて来るし、神戸の将来を考えるならば、重工業にかわる別の産業が当然起り、また、それを發展させないといけない。それには、ファッショントラブルを伸ばして行かないといけないのじやないか。これから都市型産業の特徴としては、公害がなく付加価値のある商品でなければいけない。また、当然、雇用力のあるものでなければいけないとか、いろいろと問題がありますが、衣食住に関連のある産業とは、それなりに努力すれば付加価値のある知識集約型産業となる。そういう産業が伸びなければいけないということをファッショントラブル市民大学を通じて勉強させていただきました。

日本のファッショントラブルは東京ではなくて、神戸が中心地である、というかたちに将来はなりたいと思いますし、ポートアイランドのファッショントラブルを一つの中心として、神戸が日本のファッショントラブルの中心地になれたら、二十一世紀へ向けて大きな夢が開けて行くと思いますね。

この十年間のシユーズ業界を見てみると、四十六年が生産量においてはピークだったんです。業界全体として約一億足の靴がつくられていて、その約四十パーセントが輸出されていました。ところがニクソンショック、オイルショックなどで、輸出が現在では数パーセントのところまで落ち込んでしまっている。しかしながら一方



鬼塚喜八郎さん



木村 豊さん



河野 忠博さん

では輸出メーカーが国内向けに転換をして、生産量そのものは約半分に落ち込んでいますが、売り上げ高では倍に近い数字で、業界全体としては伸びて来ております。七、八年前からもう一度輸出を再開しようということになりました。国内で売れている商品を出展したわけですが、非常に好評を得ました。価格も国内価格と同じで成約されました。とくに若い女性向けのデザインは、すでに世界的な水準に達していると思いますね。

それはファッショントラブル市民大学やK.F.A.(コウベ・ファッショントラブル)を中心としたみなさんがファッショントラブルを建設しよう、神戸をファッショントラブルの中心地化しようという努力が、自然のうちに私どもの業界にも好影響を及ぼしたと言えると思いますね。

木村アパレルが結束して、これから神戸の国際化にどこまで貢献できるかが、われわれ業界の今後の課題ですが、足下を固めながらやつて来たのがこの十年ですね。この間、K.F.A.の十周年パーティで、川上勉理事長のあいさつにもありました、生活文化産業などという意味で、ポートビア'81への参加も大成功裡に終りました。

先ほどお話しに出ましたファッショントラブル市民大学につきましても、たとえばお菓子屋さんは、洋服屋のための勉強会かと言われたときもありましたね。

私どもは戦前から営業をしていますが、ほとんどは昭

和三、四十年代の創立のところが多く、むしろファッショングの大先輩は洋菓子や洋家具業界だと思います。

生活文化がどうなって行くかということにおいてのアパレルの位置づけが一番気になるところで、いろいろな業界のなかで互いに刺激をし合って、トータルのレベルが上って行くようないいですね。

この十年でアパレル業界の業績が順調に伸びて来たというこの背景には、神戸の市民の評価をいただいたからだと思います。市民のチェックによつて神戸のアパレルが育つて来たと思いますね。パンやケーキも美味しいですし、こういう食生活もバックボーンになっていますね。すべての生活に対する市民のセンスが大きなバックボーンになつてゐると思いますね。

**鬼塚** スポーツ産業に関しては、昭和四十七、八年から高度成長の波にのりましたし、同時にオイルショック以降は健康マインドが非常に盛んになって来て一きよ伸びて来ましたね。四十七年には百六、七十億の産業だったのが、現在では四百億近くになつて来ています。スポーツ・シユーズを中心とした健康産業がすごく伸びて來る。それはまたスポーツ・アツションということにつながつて来る。ほとんどの国民が家庭生活にスポーツをどのように取り入れるかを考える時代で、今やアパレル産業もスポーツ・アツションにどんどんと入つて来ていますね。

**河野** 確かにスポーツ・アツションは、ここ七、八年前から急速に伸びて来て、私どもでもスポーツライフシユーズをどんどん取り入れて業界としても伸びて来ました。

**鬼塚** 神戸が中心となつて全国のスポーツ・シユーズが発展して來ているんですよ。

昭和五十二年に商工会議所が、ファッショング都市づくり特別委員会を設置しましたが、特別委員会では、ファッショング産業を重視して育成して行くことが一つの柱でした。それ以外には、ファッショングストリートをつくつて行こうということ。町並みを整えて行かないところ

ファッショングは育たない、ということで、新開地から神戸市役所にいたる通り、さらに北野からポートアイランドにいたる通り、これをファッショングストリートとして整備して行く。これについてはとくに市が力を入れてくれまして、三宮を中心として縁の町づくりが出来上がってきました。

もう一つは人材の育成に努力をして行かないといけないということがあり、神戸ファッショングビジネススクール・コーディネイターコースを昭和五十三年六月に開きました。商工会議所としては初めての試みですが、大変な好評を得ました。第二回の五十四年には、基礎コースを開講、全国から受講者が集まりました。このコーディネイターコース、基礎コースが中心となつて今後、ファッショング大学をどのようにして神戸につくつて行くかと大変に大きな課題を残しながら、人材育成の芽をつくり出しました。これは、神戸ファッショング市民大学の開講と相呼応しまして人材育成に大きな業績を残したと思いますね。

### 神戸の浮沈がかかった「ファッショングタウン」

**鬼塚** かねてKFC(協同組合神戸ファッショングンシティ)がポートアイランドのファッショングタウン建設のためにワールドの木口会長を理事長として結成されたのですが、ポートビア<sup>81</sup>が終りました直後から活潑に建設に取りかかっています。

そこで、ポートアイランドのファッショングンシティ推進協議会が、進出を決定しました二十八社を中心として、結成され、ポートアイランドのファッショングタウンについて、ポーティングタウンを素晴らしいファッショングタウンにつくり上げて行こうという段階によつやくなりました。今春早々には発足することになつています。

このようすに神戸をマザーファッショング都市とするならファッショングタウンを、ファッショング都市神戸のなかの一つの目玉にしたいということですね。だからユニバーサルな町並みにしないといけない。そのためにはどういうこ

とをやつたらいいのかいろいろと考えて来ているわけです。

一昨年通産省に繊維等服飾産業高度化街区建設調査委員会ができたんですが、全国でファッショントン都市をつくるためにモデル地区を指定して、それを研究して行こうとしています。その第一号が神戸のファッショントンタウンに指定されたわけです。これに神戸市と商工会議所が関わって、その調査結果が昨年の三月に出ました。

それによると、何と言つても知識集約型産業の拠点でないといけない、しかも、モダンタウンでなかつたらいけない、同時に活性化するためには、どうしてもビルの一、二階と地階のいわゆるグラウンドレベルを開放してしまって、一般の人人が自由に入り出来るオープンな形式の町にしないといけない。したがつて卸売街区であつてはいけない。そこでは神戸の代表的なファッショングが買えるという小売り機能がないといけない。そこに活力を見出して行こうということですね。

二番目に、できれば二十四時間動いている町にしたいということです。『全時動都市』としての町をめざす。

同時にもう一つ重要なことは、それぞれの建物が、それぞれの個性をもちらも町全体そのものが一つの性格をもつた町であるという、そういう形をつくることが大変に必要ではないだろうか。

さらに大切なのは、今進出が決定しているのは、中堅大企業に片寄っていますが、それではいけない。ファッショントン産業では、中小規模でもユニークな企業がありますし、ベンチャービジネスもある。また、情報産業もありますし、デザイナーのグループとか、あるいは広告代理店とかカマラマンであるとか、そういう小さいところもそのなかに住めるような町にして行かないといけない。さらに大型イベントをどうするかという問題があります。それはコンベンションと結びつかないといけませんので、国際会議場、国際展示場、ホテルの三点セットを有効に活用しながら、世界の人を引きつける。つまりフ

ァッショントンだけではなく神戸市のもつコンベンション構造を十分に活用しながらユニークな町づくりをしないといけないですね。

ファッショントンタウンづくりは大変な大事業ですが、進出企業の中味を見ますと、アパレル、真珠メーカー、家具の組合、スポーツ、食品、ケミカルなど神戸のファッショントン産業のすべての要素をここにもち込んで来ております。神戸の夢見ていたファッショントン都市が名実ともにファッショントンタウンのなかにコンバクトされて表現されてしまうのではないか。非常に期待をしております。

木村 マクロな話は今、鬼塚さんがおっしゃいましたが私どもも当然いい町づくりを進めますが、私どものファッショントンタウン進出についてのミクロなことを少し申します。

私どもは今、三つのビルがあるのですが、一番困っているのはモノの流れですね。ビルが離れているので非常に能率が悪い。これを合理化することと、もう一つは、われわれファッショントン業界にとって大事な展示会のできる場所を自前でもちたいという二つの要素からファッショントンタウンへ進出を決めました。物流の方は三年ほど経てばなんとか格好がつくと思いますし、そのノウハウを今までのビルに移して、その時点で本社機能をファッショントンタウンへ移すことを考えています。

また、ファッショントンタウンの町づくりの問題については、地域での存在意義を考えていかないといけない。具体的にどういうことが出来るかを現在模索中です。

私どもはアパレルといいましても子供服が主体ですが、今、二十歳ぐらいまでの服を新たに展開をしております。これはまだまだこれからのことですが、赤ん坊も若者も成長するということ、エバーグローリングを目指にやりますと考えております。ですから子供服だけでは他のみなさんと共に歩調がとれないとしても、そういう成人のジャンルもうまく育つてくれましたら、またいろいろと共同で出来るのじやないかと夢をふくらませてています。

河野 ファッションタウン進出につきましては、二つのことが要求されるのじやないかと考えています。

その一つは、単に一企業のものではなく、進出企業全体の、あるいは神戸市のものでなければいけないという考え方ですね。したがつてグラウンドフロアを開設して、消費者の方に何か生活提案ができるようにならないといけない。家族で来ても、若いカップルで来ても、楽しい一日が過ごせる町でなければいけないです。

### “新居留地”の建設が必要

鬼塚 私どもはファッショントウンにすべての本社機能をもつて来ます。そこには当然、新しい技術を開発するスポーツ工学研究所のようなものをつくって、ウェアにしろシユーズにしろスポーツを科学的に研究したい。それから情報関係のセンターをもつて来る。コンピューターの基地にして、全地域に対するコントロールを本社でやってしまう。もう一つ重要なことは人材育成センターです。それも本社機能のなかに備える。

人材育成あるいは情報センターというものはファッショントウン活性化するために、今後一番重要な課題になると思います。ファッショントウン大学についてはいろいろと案がありますが、トータルファッショントーンといふマにおいて、しかもニューライフスタイルを生み出して行く機能を、あのファッショントウンにつくりあげて行かないといけないといふ感じもしますね。

河野 それと神戸がファッショントウン産業の中心地となるためには、やはりマスコミにとりあげてもらえる町づくりをしないといけないといふ感じもしますね。

鬼塚 それと、これはどうしても申しあげておかないといけないのは、これだけの情報都市であり、ファッショントーン都市、コンベンション都市づくりをめざすうえで、どうしてもなくてはならないものは空港ですね。神戸の活性化のためにぜひ必要です。本当のファッショントーンは世界の情報が集まらないと出来あがらない。ファッショントーンを

運んで来るのは昔は船ですが、今は飛行機です。世界の人々がストレートに来てもらえる空港を建設することが、町づくりに最後の息吹きを与えてくれると思いますね。神戸は一九八五年にユニバーシアード大会を誘致し、さらに一九九六年のオリンピックをも誘致しようということですから、そういう方向へ展開して行くとすれば、当然ながら空港の問題、またファッショントーン都市の完成は重要な課題であり、そういうことを段階的にこなして行くことによって神戸は非常に将来性のある都市構造になって行くと思いますね。

木村 人材育成は何を差しあいても、時間はかかりますが正攻法だと思いますね。アパレルとかシユーズだけに限わらず、すべてを網羅した生活文化全体に関する学校を神戸市としても強力に進めてもらいたいと思いますね。神戸にはアパレルだけでも一五〇社ほどありますが、そういう教育機関が神戸にありますと、神戸はもとより大阪や京都からも神戸で社員教育を受けさせようということになると思います。

鬼塚 明治以降、神戸が発展したのは居留地をつくり多くの外国人がここに住んだからですね。だから今、二十一世紀へ向つて世界の文化が神戸にコンパクトにできるように居留地をもう一度つくつてはどうかと思いますね。パリ、ロンドン、ミラノ、ニューヨークなどのファッショントーンの方々や学者などが神戸へ来やすい環境をつくる。今は東京に情報が集中すぎていますから、特定の条件をつけない限りは、そう簡単に神戸へは来ないと思う。だから空港をつくることと、海外の文化人が住みやすい地域をつくることは非常に大きなテーマじやないかと思います。それと神戸の文化のなかで一番遅れているのは音楽、演劇ですね。それが育つ環境をつくりあげることが、ファッショントーン都市、コンベンション都市の背景として大変重要なことですね。

河野 内外の優秀な人にいかに神戸に集まつてもらうかその方策を考えないといけないです。

**田崎真珠株**

取締役社長 田崎俊作  
神戸市中央区旗塚通6-3-10  
TEL (078) 231-3321

**オールスタイル株**

取締役社長 川上 勉  
神戸市中央区伊藤町121  
TEL (078) 321-2111

**カネボウベルエイシー株**

取締役社長 稲岡必三  
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807  
センター・プラザ東館8F  
TEL (078) 392-2101

**株ベニヤ**

取締役社長 松谷富士男  
神戸市中央区三宮町1丁目10-1  
TEL (078) 332-3155

**モロゾフ株**

取締役社長 葛野友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の企画は以上5社の提供によるものです。

話題のひろば

<II>

## 第5回全国タウン誌会議 南国の大宮で開催



上段／左 宮崎大会開会挨拶をする笹山通実行委員長。右 長友貞藏宮崎市長。

下段／左 第4分科会 中 小川喜八郎博士を迎えての記念講演 左 松浦定信月刊宮崎春秋編集長

57年度で第5回を数える「全国タウン誌会議」が、11月13日、宮崎市青島の橘ホテルで開催された。宮崎大会（主管・月刊宮崎春秋）は北は北海道「あさひかわ」から南は鹿児島の「タウン情報かごしま」まで、全国60誌の代表者が出席。会議は午後1時から、笹山通実行委員長の開会挨拶のあと、各タウン誌編集長のコーディネイターによる分科会形式の本会議に入った。会議は、流通販売、経営手法とこれからのタウン誌展望、編集技法、広告とその戦略の4つのテーマについて、活発な意見交換が行なわれた。地方の時代における地元に密着した第三の情報媒体として、タウン誌は社会的に認められ始めただけに、読者層の選定や組織形成、情報収集など前向きに取り組むべき課題も多い。

大会決議の総括ののち、午後4時小川喜八郎宮崎大学農学博士を迎えて「人と酒」をテーマに、宮崎と地酒の学術的論及とスライドを使つた楽しい記念講演。5時には、5誌編集長をパネラーに、「地域からの報告」と題したディスカッションが行なわれた。その後、懇親会には、長友貞藏宮崎市長が駆けつけ、「宮崎の観光を楽しんで帰つて下さい」と挨拶。宮崎大会は、第4回神戸大会に引き続きより実り多いものとなつた。

タウン誌会議が、11月13日、宮崎市青島の橘ホテルで開催された。宮崎大会（主管・月刊宮崎春秋）は北は北海道「あさひかわ」から南は鹿児島の「タウン情報かごしま」まで、全国60誌の代表者が出席。会議は午後1時から、笹山通実行委員長の開会挨拶のあと、各タウン誌編集長のコーディネイターによる分科会形式の本会議に入った。会議は、流通販売、経営手法とこれからのタウン誌展望、編集技法、広告とその戦略の4つのテーマについて、活発な意見交換が行なわれた。地方の時代における地元に密着した第三の情報媒体として、タウン誌は社会的に認められ始めただけに、読者層の選定や組織形成、情報収集など前向きに取り組むべき課題も多い。

大会決議の総括ののち、午後4時小川喜八郎宮崎大学農学博士を迎えて「人と酒」をテーマに、宮崎と地酒の学術的論及とスライドを使つた楽しい記念講演。5時には、5誌編集長をパネラーに、「地域からの報告」と題したディスカッションが行なわれた。その後、懇親会には、長友貞藏宮崎市長が駆けつけ、「宮崎の観光を楽しんで帰つて下さい」と挨拶。宮崎大会は、第4回神戸大会に引き続きより実り多いものとなつた。

□ 神戸—ひと・もの・こと

## 話題のひろば

<III>

# 「都市とデザイン会議」



写真右：基調講演する田中一光氏／写真左上：「神戸—ひと・もの・こと」をテーマにシンポジウム／写真左下：シンポジウムにひきつづいて行われた懇親会（オリエタルホテル）

このあと、宗政敏夫氏（兵庫県建築設計監理協会副会長）をコーディネータとして、パネルディスカッションが行われた。パネラーは井上斌策氏（トータルデザインシステム代表）、藤山幸紀氏（フォーラム建築研究所々長）、北島道生氏（関西大学工学部講師）、福野輝郎氏（武庫川女子大学講師）らに田中一光氏も加わった5人。「三宮へ都市の機能が集中し過ぎている点が問題。西神戸地区の地盤沈下に歯止めをかけ活性化を図ることが必要」「家庭の掘りごたつのよう人が自然に集まり、コミュニケーションが生まれる広場が欲しい」「都市の持つ劇場性を認識すべき」などの提言がなされた。

最後に「美しく住みよい神戸の街づくりのために、それぞれの英知を結集しよう」と、「'82 KOBE デザイン宣言」を採択して閉会した。その後、引きつづいてオリエンタルホテルで懇親会がもたれた。

神戸の新しいまちの姿を探ろうと、11月27日第2回神戸デザイン会議（神戸デザイン協会・主催）が開かれた。会場の神戸市立博物館地階講堂には、建築家、デザイナーら約140名が集まつた。基調講演では、田中一光氏（グラフィックデザイナー）が、商業主義による視覚公害を訴え、行政側の努力の必要性を強調。

# 美味しい自然是 地球を救う

橋本

保田

庸平

茂

(神戸女子薬科大学教授)

(神戸大学農学部助手)

島

京子

(作家)

一

二

(ナチュラルハウス企画部長)

近年、食品汚染の恐ろしさが話題となつておおり、健康食品、自然食品などが注目を浴びています。今回は、そうした自然食品、健康食品などに深い関わりをもつておられる方々にお集まりいただき、それぞれの分野から、お話しを頂戴したいと思います。

★だんだん広がって行く自然食品

保田 私は神戸大学の農学部で有機農業の研究をしております。あまり良い日本語とは思えませんが、私達は主に有機農産物という表現をします。つまり、有機農業でできた産物というわけですが、こうした農産物を求める運動が広がったのは、全国的にみて'71年(昭和46年)頃で、有機農業研究会というのが東京を中心に関成されて、

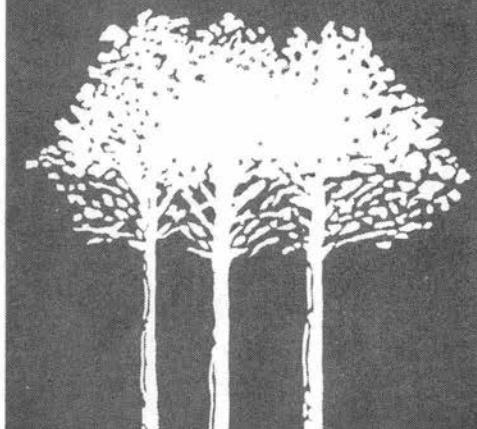
それがひとつのかかけとなつて始まつたと考えてよいでしょう。

その背景は、やはり'70年頃いつせいに問題化した水俣病やカネミライスオイル事件などの公害で、農薬の害が広く私達に認識されるようになつたからです。そこで食物の汚染から国民の健康を守るために、また一方では、農地が段々荒れの傾向が出ていたので農地を大事にして生産の安定をはかるといふ両面から、有機農業研究会が発足しました。それから約10年たち、各地で生産者と消費者の関心が高まってきて、全国的に有機農産物の産直運動が広がっています。しかし、例えば神戸市内を見ても、人口約130万のうち、有機農産物を共同購入しているのはおそらく2~3000世帯位でしょう。

私も時々ナチュラルハウスを利用していますが、そうした人を含めても全体的には多くないと思いま

す。現在では、かなりマスコミにもとりあげられるようになつてますが、まだ一般の家庭ではそこまで真剣に考えられていないというのが現状ではないでしょうか。

島 今、保田先生が自然食品などが注目されるに至った背景を話されましたが、農薬や添加物の生産量の増加傾向は、実に腹立たしいですね。添加物の生産量を例に上げますと、昭和57年は昭和35年の300倍になるそうです。農薬も同じように生産量はどんどん増えているようで、農薬依存の農政が目に余りますね。ものごと何でもそうですが、行くところまで行くと、自ど反動が起ります。こうし



船木 一二



島 京子



保田 茂



橋本 康平



た自然食品や健康食品を求める動きも、その反動と考えていいでしょう。

橋本 私は神戸女子薬科大学で生薬の研究をしておりますが、人類には何千年という歴史のある食物や薬品があります。歴史のある食物は結構ですが、今まで人類が食べてないものは、十分注意して欲しいと思います。

保田 食品添加物についての問題意識も、やはり有機農業運動が起つて、従来の価格問題中心から、「質」の問題、特に安全と栄養とによって発生してきたと考えられます。許可基準についても、厚生省サイドではかなり厳しくやっているという事になるのでしょうかが、庶民レベルからみると、長く食べ続けた場合どうなるのか、またその子どもにどんな影響を与えるのかという問題などは、あいまいで深刻にならざるを得ません。

#### ★自然食品には長い歴史がある

保田 日本での農薬は、戦後の食糧難を一日も早く解消したいといふ農林省側と、生産力を上げて収入のアップをはかりたいという生産者の思惑が相まって普及していくわけですが、昭和28年頃には大々的に農法の中に取り入れられるようになっています。

島 えっ、すでに昭和28年頃ですか？

保田 ええ、その頃には稻作の病気と害虫は農薬で防除できる態勢が確立したと考えてさしつかえないでしよう。そして、昭和30年には史上最大の豊作となり、食糧難も一気に解消していくわけです。その背景には農薬があつたという事です。その後暫くして、水銀農薬な

どが次々禁止されていき、比較的分解が早く残留しない農薬に切り替っていくわけですが、分解が早いという事はききめがうすいという事ですから、今度は使用量が増えるという現象が出てきます。極めて皮肉な事ですが、有機農業への関心が高まり、農薬に対する国民の意識が向上すればするほど、先ほど島先生がおっしゃったように、農薬全体の生産量も増え、またその使用量も増加し労働量も増しているというのが現実なのです。

橋本 私の所は女子薬科大学ですから、学生達によく「行政というものは食品公害、薬品公害から決して守ってくれない。君達は身を守る学問をしているのだから幸せだ」と言います。

島 本当に自衛するしかないですね。さつき、橋本先生が歴史のない食物は要注意とおっしゃったけれど、化学薬品には歴史がないですね。素人考えですが、そんなものをどんどん体内にとり入れて行つて、健康に良いわけがないと思いますね。

橋本 アメリカでは食物も薬品も同じだという考え方で、同じ役所が取締っています。

#### ★高まる自然食品への関心

船木 お菓子のコトブキという会社が、何故ナチュラルハウスの仕

事を始めたかについて、少し話させていただきます。

まず企業の将来という問題があります。つまり今後「甘さ」に対して消費者の動きが出てくるだろうと予想して、では「甘さ」の嫌いな人は何を望むかという事を色々考えました。その中に全く正反対の仕事ですがナチュラルハウスの発想がありました。

2年間の調査の結果、最終結論として、53年12月に東京の自由が丘店をオープンさせました。やり始めて、この仕事の社会的使命がよくわかるようになりました。

今は、利益を上げることも勿論考えてはいますが、それは私達が行おうとしている事を社会の方々に認めて頂けるという大前提のもとで、為し上るとうと考っています。現実の発想は商売かもしれません。運営面では、そうした考え方の上に立っています。オープン後の反響について申しますと、お客様は確実に増えています。そして例を上げるとよくわかつていただけるかと思いますが、洗剤を買われたあるお客様にその理由を尋ねたことがあります。すると「今の洗剤は海水で行つても分解しないで、地球を汚すようになっている。この洗剤ならそういう事もなさそうだし、私一人だけでもこれを使えばいい

んじやないかと思って」と答えられました。大変感銘を受けました。またある年配の主婦が、ナチュラルハウスの卵が食べられないところへ寄りました。理由は、子どもの頃は卵が嫌いだったのが、ある時期から市販の卵が食べられるようになつた、しかしこの卵は子どもたちが嫌いだった卵と同じ味がするという訳です。この例も消費者の意見ではないかと思います。

ナチュラルハウスのトマトは大小様々です、キュウリは曲っています。開店間もない頃のお客様は冬にトマトがない、キュウリがないと不評でしたが、そうした原点で消費者の方とお話をし、自然食品に対する理解を深めていただきました。最近では大変よく勉強されていますが、ただ日本人が持っている本当の食文化というものは忘れられているような気がしてなりません。動物は親が食べるものを食べて生きるわけですが、今や我々は親さえも食べなかつた物を食べているという現状は、大きな食文化の乱れであると思います。

橋本 私は漢方薬について専門に研究していますが、最近はかなり話題を呼んでいます。漢方薬には、有毒植物も入っていますが、幾つかの生薬が混ぜ合わさって相互に解毒しあっています。例えれば発ガン性などが無いよう

まくカバーしあつてゐるわけですね。人類が大昔から食べているものを専門的に研究すれば、漢方薬のようにうまくカバーしあつてゐることが、きっとわかると思います。漢方薬には、何しろ4000年の歴史があります。自然食品といつても歴史のないものは、氣をつけないといけません。また食べられるものでも量に限度がある場合も考えられますので、十分注意する必要があります。中国の漢方は、長い長い歴史の間に試行錯誤を繰り返しながら、食べていいものの、薬になるもの、有害なものを分けてきました。分析化学が発達して素晴らしい事が色々わかってきたのですが、漢方薬は2つの薬が合わさつて効力を例えれば5倍にするような、所謂相乗効果があるんですね。私は、食べ物もこうであるべきだと思います。

船木 橋本先生のお話は、実によくわかりますね。ナチュラルハウスの「食」についての考え方も、先生とは理解の深度は異なるかもしれません、同じです。有毒なものもあれば、毒を制するものもある。しかし、一緒に食べることにより、良い作用をするという考え方です。そこが、化学薬品、化学生食品との大きな違いですね。

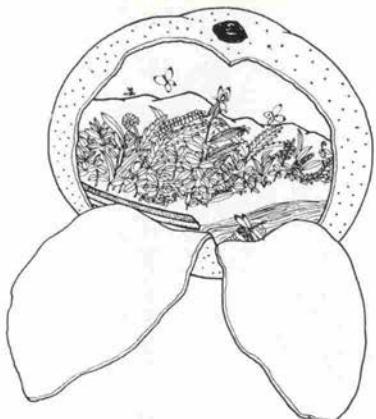
保田 以前は生産者の絶対数も少なくて、消費者が集まって組織を作つてもなかなか供給してもらえたかったが、現在では有機農業にとり組んでみたいという声を随分聞くようになりました。ですから消費者が食物の重要性をもつと認識すれば……。

島 今は大勢の人が健康に関心をもつていて、そういう人が年々増えていっています。ただ食品については詳しく述べられないですね、皆さん。

船木 今、教育の問題を考えても「食」の教育をする機会が殆どないんじゃないでしょうか。

親元を早く離れてしまい、いわゆる親のもつ食文化を吸収できない

美しい自然で育った  
おいしい食物



という事もあります。本当はその辺から考える必要がある様に思います。

### ★自然食が地球を救う

島 先祖代々が食べてきたものを食べ、食べなかつたものは食べるな、ということですね、結局は。

橋本 人類が長い間かかつて試行錯誤の中から作り上げたものが、漢方薬や献立といえますね。

船木 最近、段々地球の自然の体系が崩れつあるような気がします。大きな話になるかもしませんが、自然食が地球を救えるような気がします。

島 生産者側にも農薬による病気が広がっていると聞きますが、そのようにデータをかくさずにもつと発表すべきだと思います。

保田 食物による被害をうけやすいのは、成長盛りの子ども、そしてお腹の中の人達です。彼らに私達人が経験しなかつた健康障害が発生しています。これをかくす事は将来に災いを残すことになります。これは、一般的の家庭の両親も考へないといけません。ついでですが、食物の安全というと自分を基準にして考えが

お年寄も子供も、そして病人も食べます。その食物がいいか悪いかは、一番弱い人を中心と考えるべきです。成長盛りの子どもにとつて今の食物がどういう意味をもつかを真剣に考えねばなりません。

船木 動物の世界ではその種族が増加しすぎると、自然淘汰される例があります。原子力や排気ガスの問題もそうですが、食品添加物なども人類淘汰のために作られているような気がしてならないのです。そう考えていくと、食物はどうあるべきかという問題に対する答が出てきそうに思います。私達は、前にも述べましたが、商売である以上利益を上げたいと願うことは事実です。しかしそれは、ナチュラルハウスが社会の中で重要な役割を与えられ存在するから利益が出るという、基本的な考えに立脚した上のことです。ナチュラルハウスも大きくなつて、たくさんの方に、よりよい食品を手近に買つていただけるようになりたいと思います。そのためには、その商品は誰が考へても納得がいくことを前提にしなければなりませんので、こういう機会に色々な方からご意見をお伺いして、皆様方から存在価値を認められるお店になるように努力したいと考えています。

特集(2)ミニ・ルボ

■神戸とナチュラル・ライフ

## 美味しい自然に アタック

無農薬、無化学肥料、有機農法などによる  
「自然」のままの食べ物が、さまざまな方法によつて、神戸近郊の各地で生産されている。  
そして、それを利用する人たちの応援グループがある。美味しい「自然」を求める人たちの活動にアプローチしてみました。

### ★農業生産法人 ふえろう村

□連絡先 小野市鷹本中津井401 (小野国)  
際ゴルフ、グリーンビア三木近く)  
☎0794-6(7)-0903 華房 良輔

〔捨てる物は何ひとつない〕限られた地球の資源を最大活用し、自然と共に存しする生活をと、本来は「自給自足」をめざすコミュニティだつた。メンバー7人がそれぞれに自主管理し、生産物は須磨や



完成した宿舎と農場周辺



鈴蘭台、小野、三木などの希望者へ定期的に安価で配達している。

昨年の春から、現在の農場移転のための伐採作業と宿舎基礎工事に入り、10月末、廃棄物などによる建材で全員総がかりによる鉄筋ビルが完成。農場総面積は約2ヘクタール、産卵鶏80羽、肉用鶏200羽、アヒル100羽、肉牛20頭、乳牛7頭、豚60頭、山羊5頭、兎100匹、七面鳥4羽、孔雀2羽、馬2頭、シイタケ2千本、養蜂30群などや有機農法による野菜、水稻を生産。〔冬には中学生の農業教室を開講(食費実費のみ)希望者募集中／また社員研修など団体の利用も可(食事は鴨ナベ、バーベキュー)〕

### ★ヤマギズム生活北条実顕地

□連絡先 加西市北条町東高室401の1(加西市立農物神戸供給所)  
☎0790-4(2)-0494

「海岸会」(本部三重県)の神戸支部。「幸福な社会は幸福な人によ

つてしか作り得ない——金のいらない楽しい生活」をめざすヤマギズム生産物神戸供給所(代表者荒瀬崎次さん全員54名)の下間徳夫さんにお話を伺った。

養鶏を例にとれば、本来、鶏も一つの生き物なのだが卵をより多く産ませて商業ベースにのせてペ



牛舎の前で、下間さん(右)

### ★鷲林寺 藤井さん

□連絡先 西宮市柏町8-33 藤井健太郎  
☎(0798)71-8003

藤井さんのお宅は阪急苦楽園口駅から坂道をバスで約8分、柏堂町で降り10分程歩いたところ。

煙は家の近くに約五反あり、野菜の品種は八百屋さん並みとか。



烟石農作業 蔡其文／李春

農業はこの地で二代目だが、無農薬の有機農法は始めてまだ六、七年。それ以前から興味はあり、講演会にも顔を出していたが、直接のきっかけはサラリーマンとの兼業時代に健康を害したことによる。そのうち、消費者グループ「あけぼの」から連絡があり交流が始まる。現在は6グループ、約80軒では受け持ち、配達は週4回。午前中で収穫し、夕方約一時間で配り終

★有機農業による  
生産物をひろめる会

わる。堆肥（糞尿）や油かす、ワラなどの供給量が少なく、割高になりがちなので、自前で販賣したいが住宅地のため臭いの問題があり頭を痛めているという。それでも野菜に虫がつく、草がはえやすいなどは消費者グループの援農で大助かりだという。「あくせくしない生活、つまり自然流ですね」と語るご主人と奥さんの範子さんの顔はとてもさわやかであつた。

密にする、④各グループの代表者が月一回定例会議を開く、など。会の購入先は兵庫県氷上郡市島町の農家、約30世帯に限定しているが、生産を手伝う援農も盛んだ。

今後は若い女性の参加や学校の家庭科の先生に働きかけたいとしている。ある主婦などは自然野菜パーティーを開き、近所でなかなか好評とか、また別の主婦は8年も続けており、二人の息子は自然食で育った、まさに“自然児”である。

会の特色は①主導たるのクルー  
プである、②世話人はいるが民主  
性を重んじるためリー・ダーアを作ら  
ない、③機関紙「ひろめる会通信」  
を月一回発行して会員との連絡を



## グループ代表者による定例会議

□連絡先 〒654神戸市須磨区北町3ノ6  
ノ22 高阪邦子電734-4020

る。ブームと片づけられない実が  
結ばれつつある。

★食品公害を追放し、安全な食べ物を求める会（略称「求める会」）

□連絡先／神戸市灘区山田町3丁目1-1  
神戸学生青年センター内 電 (822) 0810

「求める会」が生まれたのは8年ほど前。当時は食物の安全に関心

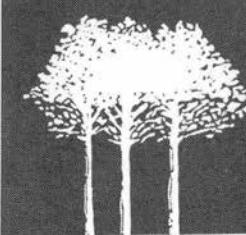
A black and white photograph showing a group of approximately ten people, including several children, standing outdoors in a grassy area. They are all wearing wide-brimmed hats and casual clothing like t-shirts and shorts. In the background, there are green hills or mountains under a clear sky. To the left, the side of a white bus is visible. The group appears to be posing for a photo.

市島町での探査

## 私のベスト・コンディション

Q & A  
Q ①、あなたと自然食などの出会いは?  
Q ②、何をどんなふうに利用されていますか?  
Q ③、その効果などについて。  
Q ④、あなたのキャラクタなど。  
Q ⑤、これからチャレンジしてみたいこと、  
または、アドバイスなど。

A 〔答え〕



★高橋 嘉子(38歳)主婦



A ① 新聞に連載されていた有吉佐和子さんの「複合汚染」を読んで、私達の知らない所で大変な事がおこっているのを知りショックを受けた。また私自身が疲れやすい体質であったこと、子どもが小さかったのでその将来を案じたことなどがきっかけです。



A ② 野菜が中心ですが、それ以外にも鶏卵や豚肉を購入しています。季節により入手できない野菜もありますが、食生活に必要な野菜のほとんどを有機農産物でまかなっています。

A ③ 以前ほどは簡単に疲れなくなり、体質改善したように思いますが、何よりも美味しい事が魅力です。子どもの頃食べたトマトやキュウリと同じ味がするんですね。

A ④ 約6年です。

A ⑤ 農産物だけでなく、海産物などにも手を広げたいですね。とにかく楽しくやりたいです。(談)

★伊藤 敦子(26歳)貿易会社勤務

A ① もともと乾燥肌なので油性の化粧品を使っていましたが、そばかすやシミができやすく、友人の勧めで自然化粧品を使っています。ネイチャーというアロエを用いたブランドの基礎化粧品、ボディーシャンプー、ヘア用シャンプーやリンス等です。

A ③ 色素が入っていないので、まず安心して使えます。何となく肌がツルツルしてきたようになりますが、自分満足かも(笑)

A ④ 約5年

A ⑤ 以前ほどは簡単に疲れなくなり、体質改善したように思いますが、何よりも美味しい事が魅力です。子どもの頃食べたトマトやキュウリと同じ味がするんですね。

A ⑥ やはり表面だけではなく、内

A ②

有機野菜、北海道から購入のよつば牛乳、この牛乳は普通と違い殺菌温度が低いので乳酸菌が生きています。他に玄米、無添加の調味料など。

料理研究会を開いて色々工夫してます。料理手帳も作成して、配ったりします。

★井原 静江(69歳)主婦



A ① テレビで病気で立てなくなつた牛や豚の肉が、市場に出ているのを見たのです。それを食べているのかと思うと恐くなつたのです。

A ② 有機野菜、北海道から購入のよつば牛乳、この牛乳は普通と違い殺菌温度が低いので乳酸菌が生きています。他に玄米、無添加の調味料など。

料理研究会を開いて色々工夫してます。料理手帳も作成して、配ったりします。

A ③ いつも気分がさわやかですね、まるで血がきれいになつたみたい

A ④ 便通もよくなりますが、嫌いなんです。商業ベースに乗つた言葉ですね。

A ⑤ 自然食という言葉ね、あれ私としては自然のままの食物といいたい。

そして賛同してくれる消費者が増えてくれれば、企業も農家も生産せざるを得なくなると思います。

★小林 真弓（37歳）主婦

A① 自然食という表現は抵抗があるので、より安全な食物についてということを答えます。数年前瀬戸内海を渡った時、発泡スチロールが浮き、どす黒く赤潮が発生して合成洗剤などによる公害を実感いろいろと考え出してから。

A② 野菜・牛乳・果物・肉・卵・基礎調味料・粉石鹼などを定期的に

に共同購入。旬の無農薬野菜を用いた献立で、『畑に合わせた台所』という言葉につけると思います。

A③ 玄米を一年食べることによつて接触性皮炎（手）や足のひび割れが治りました。

A④ 4年8カ月

A⑤ 現在ほど食べ物への関心が高まっている時はないが、これをファッショントルさせてはいけない。食べ物が食べ物として終るのではなく、使い捨ての消費を再検討し、一人一人が真剣に自然な生活環境と人間の世代を越えた健康づくりを考え直すことが必要ではないでしょうか。

★大里最世子（デザイナー）

A① テニスをしている時に腰を痛め、中国鍼に通っているうちに食事の好みが変つて、ちょうど自然食の本を読んで直感的に、これだ！と思いつ、自然食に切り換えた。

A② 主食を小豆、ハトムギ、玄米の三種混合の御飯、副食を有色野菜、根菜類、豆類を紅花油で、

天ぷら、煮物と自然素材を生かした調理法で、自然の中に生きてい



るよう食卓に並べるように工夫しています。また、2年前からビタミンCとEを愛用しています。

A③ 少し増え気味だった体重が3キロ減り、甘い物が欲しくなくなり、便通がよく、無駄なものを口にしなくなつたこと。有野菜に恋したように燃えています。仕事上も精神的にも虚飾性が消えてお化粧もしなくなつたことです。

A④ 9カ月

A⑤ 身体内を美しく浄化させてそこから湧き出る精神を、美しい服飾作りに注ぎ込み、魅力溢れる作品を着る人に肌で感じてほしい

★中西 咲子（54歳）随筆家

A① 主人（中西勝昌伯）が「土から生まれるもの」が好きだったので、自家栽培を手伝い始めたこと。

A② お店で買えない生鮮さが大切な野菜類を自宅で作る。中国野菜やラディッシュ、茗荷、ウド、あらゆる葉菜類の種をプランターンに厚蒔きにし、発芽後二つ葉の時期のものを抜き、朝食のサラダに用いる。庭木も、花梨、柚、サクランボ、フェジヨウなどの実の食べられるものを植えています。

A③ 農作業の土とのふれあいと体を動かすこと。植物の発芽の折

に生命の息吹きと自然の味と香りに、たとえようもない解放感を感じます。自分の手で苦労して作ったものを自分で調理する、自然のありように従つた生活は自ずと健康な生活につながると思います。

A④ 25～26年

A⑤ どんな器でもいいから、種を蒔き、②の方法で自家栽培をすることを勧めます。自家製のグリーンサラダは最上の美食です。

来條 権介（58歳）

（株）MGC コーベツリース専務取締役 A① 永年、自然農法を提唱している世界救世教に入信したのが直接のきっかけ。野菜本来の味を知りすっかり惚れ込んでしまった。

A② 米はもちろん各種野菜、調味料など、教団が母体となつてい



A③ 昔は胃が悪く、カイ癪寸前まで行つたが自然食を食べ始めてからは胃のことなど忘れてしまつた家族も医者を行つた事がない。

A④ 20年以上。

A⑤ 本当の自然食とは、汚れない大地に農薬も肥料もいっさい使わず、自然の理に適つた農法で栽培された作物を指すと思う。健康食・自然食ブームもけつこうだが、食べ物への感謝の気持ちがなければ真の健康は望めない。

A① テニスをしている時に腰を痛め、中国鍼に通っているうちに食事の好みが変つて、ちょうど自然食の本を読んで直感的に、これだ！と思いつ、自然食に切り換えた。

A② 主食を小豆、ハトムギ、玄米の三種混合の御飯、副食を有色野菜、根菜類、豆類を紅花油で、

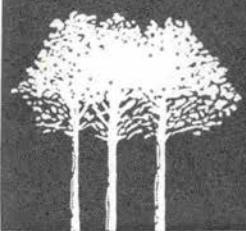


A③ 農作業の土とのふれあいと体を動かすこと。植物の発芽の折

特集「4」ルポルタージュ／ナチュラルハウス神戸店  
■神戸とナチュラル・ライフ

# おしゃれな 自然の広場

嘉納純子（コピーライター）



いくら体のために良いと言われても、おいしくないものを毎日食べて生きたいとは思いません。「人間、一生の食事の数が約8万回だから、日々の食事をせいいつぱい楽しみたい」というほどの食いしん坊ではありませんが、珍しいものやおいしいものを食べることは、やっぱり喜びのひとつですもの。

でも「おいしいな」と感じることができるのも、体が健康だからこそ。だから私は週に一度はこの△ナチュラルハウスへ買い出しにやつて来ます。そして今日はノートを片手の取材。

3年前にオープンして以来、着実にファンを増やし、東京に3店舗、関西に2店の支店を持つ、今や売れっこの△ナチュラルハウス▽ニユーミセスと言われる女性の方が多いですが、最近は男性ファンも増えましたね」と、スタッフの橋本厚司さん。

そう言えば、今は世をあげてのシェイプアップ時代。健康スポーツなるものが大流行ですが、そのための体を支えているのが、他ならぬ『食物』なのですから、外側を鍛えるだけでは片手落ち。内側からも体を磨いてやらなければなりません。



只今、爆発的ヒット商品の豆乳です。ぜひ一度お試しください。とうふ120円、豆乳75円。

3年前にオープンして以来、着実にファンを増やし、東京に3店舗、関西に2店の支店を持つ、今や売れっこの△ナチュラルハウス▽ニユーミセスと言われる女性の方が多いですが、最近は男性ファンも増えましたね」と、スタッフの橋本厚司さん。

自然食というと、今までは何やら固苦しいイメージがありました。が、ナチュラルハウスは広くて明るく、ちょっとオシャレなフードティックという感じ、バスケットトをかかえて、のびのびとショッピングができます。

次に塩ですが、最近のものは大抵、成分の99%が塩化ナトリウム。天然にがりを残した塩の方が料理の味もぐっとひきたちます。

ところどころで、ナチュラルハウスの自慢は、野菜や肉などの生鮮

に来られるお客さんも多いですね。当店のジュースは無農薬の野菜、果物だけを使ってますから、そしてジースついでに、その辺りの自然食品を見学、もの珍しさも手伝って衝動買い。それから自然食党になってしまったという男性や女性も多いとか。

「食生活を変える時は無理をしない方がいいですね。私も、まず調味料からおすすめしています」

たしかに私が初めてナチュラルハウスで買ったのも、そんな基礎調味料でしたっけ。

ミリン風調味料に醤油、砂糖、塩、だしの素。

知ってました？ 一般のだしの素はカツオの味をつけた単なる化学調味料だつてこと。

そして砂糖、上品に精製されたものは栄養分ゼロの（鉄分やミネラルなしの）ただの炭水化物なのです。だそうです。

品だと。種類が少ないように思われがちですが、スーパーと同じだけは揃っていますよ。ただし、季節の旬のものしか置いていません。ほら、トマトやナスはないでしよう。無農薬の野菜ですから高いものもありますが、葉っぱ類がかなり安い。平均すると、よそと変わらないと思いますよ」

特にホウレン草が気に入りました。根が付いているので、水にかけておくとしおれないのです。

「豆腐も安心ですよ。無農薬の丸大豆100%のもので、天然にがりを使って固めています。消泡剤や防腐剤はいっさい入っていませんし……」

肉類もたくさんあります。自然放牧（つまり土の上をトコトコ走りまわって育つたもの）で、エサも有機牧草。蛍光燈の下で色が鮮やかに見えるような不自然な加工もされていません。

その他、植物原料の化粧水やシ

ヤンプー、  
マイクロツ  
プ用品、お

菓子に活水  
器 etc.

商品をひと

明を聞いて

いると、び

つひとつ手

に取つて説

明を聞いて

り感心した

ことが

どんなに恐

いことを

つくづくと

実感してし

みます。

添加物や



筆者が興味深い調味料売場で。右は企画室主任の橋本厚司さん。



自然化粧品コーナーで

この店のスタッフの良いところは、「この商品は私もまだ十分には信用していません。こちらの方がおすすめできますね」といつた、商品についての正直な意見を聞かせてくれるところ。かといって押しつけがましくもなく、気軽に相談にのってくれるのです。

「病は気から」と言いますが、人間の体を作っているのが食物なら、「病は食から」とも言えるかもしれません。一生つき合つていかなければならない。たったひとりの自分の体だから、もつともつと食物に気をつけて大切にしてやりたい。

最初から「自然食を実行しようと」と大上段に構えるのではなく、自然食品の中から好みのを選んで、ひとつ、またひとつ試してみる、そんなソフトな楽しみ方もあるのじやないかな?



NEW YEAR MESSAGE



扉をたたくのはだれ?

はじまりの予感は  
長い闇のなかに、もう潜んでいる  
真新しい光をくいとつて  
佳人は、歩みはじめめる。



serizawa

■本店 神戸市中央区三宮町3丁目1-8 TEL.(078)331-1695  
■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■メンズセリザワ  
KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI



## ●KOBE EXCELLENT SHOP 《永田良介商店》 神戸ライフを支えた欧風家具



オリジナル婚礼家具



後列右より永田耕一取締役、永田典子さん、安田謙取締役常務本部長、前・永田良一郎代表取締役

●創業は「明治5年、今年で111年めを迎えます」  
●神戸家具の草分けですがその歴史を「居留地にいた外国人が帰国のお折に残していくつた洋家具を扱うアンティックの店を始めたのが基礎です。3

代目が昭和4年に、独のベルリンへ留学して欧州、北欧の家具を実際に研究して帰神。いわゆる模倣から離れてオリジナルな神戸家具が生まれていったわけです」  
●永田良介商店の特色は「欧風家具の伝統をふまえて日本風にアレンジしたことでですね。初代から家具だけではなく小物に至るまで室内装飾を考えたインテリアコーディネイトの役割を果たしていました。手づくり家具だから耐久性も良く、親子3代で続けて使っていますよ」

## 謹賀新年

今年もよろしくお願いいたします

ハイカラ神戸の伝統が育んだ格調ある専門店

●このシリーズはファッション都市KOBEへの私たちの願いをこめて…

★欧風家具・設計・創作

## 永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737~9

★本格派の人々に愛される

## ヨシオカ

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★オートクチュール

## アスター・ニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★世界のオシャレをお届けする

## ウタ KOBE LINE

神戸市中央区元町通1丁目4-13 ☎331-3112

★よろず御縫衣縫上處

## 神戸シャリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

★婦人帽子

## マキシム マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★舶来品ブティック

## Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707



歐風家具の伝統をふまえて日本風にアレンジされたオリジナル応接セット

1983  
A HAPPY NEW YEAR



おかげさまで“あきら美容室”も30周年の記念ヘアーショーを開き暖かいご支援をいただきました。

これを機会に“あきら北野店”は西野明・笑子の店として、アダルトでエレガントなヘアーサロンに。

新しくオープンいたしました“あきら神戸店”はニューヨーク・ロスの“カサンドラ2000”で修業してきました長女の西野順子がトータルアーチストとしてフレッシュにデビュー。

また“あきら仁川店”は次女の西野みどりがチーフアーチストとして若々しく受けもっております。

各店がより神戸らしく、いきいきとリフレッシュして、個性的な花を開きます。ぜひお出かけ下さい。

トータルファッショナサロン  
AKIRA KOBEがデビュー



BEAUTY SALON  
**AKIRA**

AKIRA(北野店)西野明・笑子  
神戸市中央区北野町3丁目6-17

TEL. (078) 221-9080

AKIRA(神戸店)西野順子

神戸市中央区三宮町2丁目9-10

TEL. (078) 331-4461

AKIRA(仁川店)西野みどり

宝塚市仁川北2丁目6-10

サンローゼ仁川2F

TEL. (0798) 54-0544

	西野 明	西野 笑子	西野 順子	西野みどり
カット	¥ 6,500	¥ 4,500	¥ 4,000	¥ 2,500
シャンプー	¥ 1,000	¥ 1,000	¥ 1,000	¥ 800
ペーパーバーム	¥14,000	¥11,500	¥7,200 ¥8,500	¥5,100~7,000
モカ	¥13,500	¥11,000	¥3,200 ¥4,500	¥2,200 ¥3,600
カット+シャンプー込	¥ 3,700	¥ 2,700	メイク ¥2,500	着付 ¥3,500
七・ト	あきら北野店 4月9日～18日 毎日午後3時～午後5時 料約500円	あきら北野店 4月10日～17日 毎日午後3時～午後5時 料約500円	あきら神戸店 4月10日～19日 毎日午後3時～午後5時 料約500円	あきら仁川店 4月9日～18日 毎日午後3時～午後5時 料約500円

## '83セゾン・ド・あきらヘアーショー

あきら30周年を記念してボートピアホテルで華やかに。



フェミニンなヘア



西野明のヘアーデザイン



メイクする西野順子



お客さま土井たか子さんのスピーチ



きものヘアとウェディング



フィナーレ



花に囲まれたスタッフ



右は西野明と左は娘の順子が  
仲良くあいさつ

# HAPPY 1983



おしゃれさん・あつまれ!

Christian Dior

OLGA Barbara

Courreges Maidenform

Pérèle marvel la PERLE

**LOU** lejaby

Lovable Vassarette®

Triumph Wacoal 他にも

ブランドはいっぱい! どうぞよろしく!

Tabifuku

センター・プラザ西館2F

078-332-3500

センター・プラザ2F

078-332-2767

さんプラザ3F

078-391-3720

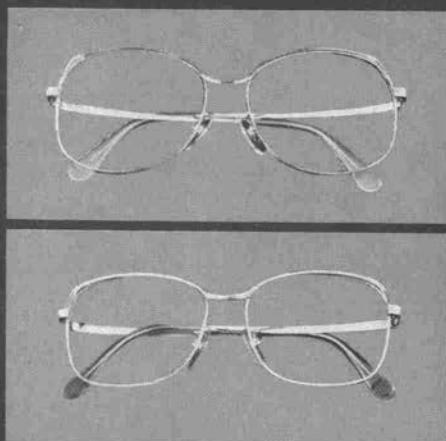
メトロこうべ・神戸タウン

078-341-0439

ローソン柳原店

078-576-0330

A HAPPY NEW YEAR '83



スリムでエレガントなシルエット  
フロントに18金無垢の新しい感覚

神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表  
三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

耳のよきパートナー  
補聴器オーディオルーム

専門コンサルタント担当

- 防音室で聴力測定・補聴器微調整
- 耳穴にフィットする耳栓型取り

※ 補聴器は元町店で取り扱っています。

謹賀新年

# 刀剣 古美術



毎月20日 無料鑑定  
研磨、白サヤ、その他工作  
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

兵庫県美術刀剣商組合事務局

刀剣の 元町美術

神戸市中央区元町通6丁目6番3号

三越百貨店東へ150m 商店街山側

TEL 078-351-0081